

会 議 録

会 議 の 名 称	令和３年度第１回行田市市民公益活動推進委員会	
開 催 日 時	令和３年６月１日（火）開会 10 時 00 分・閉会 11 時 45 分	
開 催 場 所	コミュニティセンターみずしろ １階ギャラリー	
出 席 者 氏 名	生沢弘幸 平間道代 山口尚美 羽鳥優治 金原二郎 島田晴義 今村武蔵 松井秀二郎 石橋和夫 澤田春雄 智田輝史 田口泰大 小林健 田尻要 阿南健一 横倉喜和 瀬場一隆 ※敬称略	
欠 席 者 氏 名	小池佐栄子 石川忠彦 ※敬称略	
事 務 局	地域活動推進課：酒井課長、黒澤主任 及び市民活動サポートセンター職員２名	
会 議 内 容	1 開 会 2 委員長挨拶 3 議 事 (1)行田市市民活動やる気応援助成金の審査について ① 忍の行田の「昔ばなし」語り部の会 ② さきたま古墳・古代米カレーの会 (2)その他 4 閉 会	
会 議 資 料	(1) 資料 1-1：行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱 (2) 資料 1-2：令和３年度行田市市民活動やる気応援助成金募集要項 (3) 資料 2-1：事業提案書【忍の行田の「昔ばなし」語り部の会】 (4) 資料 2-2：新たな取組応援事業審査、評価基準表（水色） (5) 資料 3-1：事業提案書【さきたま古墳・古代米カレーの会】 (6) 資料 3-2：新たな取組応援事業審査、評価基準表（黄色） (7) 資料 4 :行田市市民活動サポートセンターを中心とした今後の 行田市の市民公益活動支援について	
その他必要事項	傍聴人なし	
会 確 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 氏 名 記 載 欄
	令和３年６月１８日	田尻 要

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会 委 員 長 司 会 司 会 事 務 局 議 長	1 開 会 ・ 開会を宣言 2 委員長挨拶 ・ あいさつ ・ 人事異動に伴う事務局職員の紹介 ・ 資料の確認 ・ 欠席者、会議成立の旨の報告（過半数の委員の出席による） ・ 傍聴人なしの報告 3 議 事 ・ 要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明 (1) 市民活動やる気応援助成金の審査について ・ 提案から審査までの流れを説明 ・ 資料 1－1、1－2に基づき審査方法について説明 ・ 1つ目の提案団体「忍の行田の「昔ばなし」語り部の会」の 提案書について補足説明 ・ 本来であれば、本委員会場で提案をし、それが採択された後に事業を実施するところであるが、今回の提案は他の助成金も申請している事情があるため、事業実施開始が令和3年4月30日となっているが提案書の提出を受付けた。採択された場合、助成対象経費については交付決定日からのものに限定する。委員の皆様には、その点も考慮いただきたい。 ・ 事務局の説明に不明な点はあるか。 ・ 昨年度、本委員会において助成金の要綱改正の審議がされていたが、今年度に入り5団体からの助成金申請希望の相談があり、今回2団体から提案書の提出があった。提案もあったことから要綱改正の審議については一時凍結し、本要綱のもと今回は審査を行う。 ・ 市民やNPOが中心のまちづくり、協働のまちづくりを進めるためにも、是非多くの団体にこの助成金を活用いただきたい。そ

事務局 議長	ういった面も配慮いただきながら審査いただければと思う。 ・続いて審査基準について、事務局から説明を願う。 ・資料２－２に基づき審査基準について説明 ・事務局の説明に不明な点はあるか。 ・それでは、「忍の行田の「昔ばなし」語り部の会」の提案説明に入る。
提案者 議長 生沢委員	(提案者入室) 提案説明時間は、１０分以内でお願いします。 ・資料２－１及び持参した資料に基づき説明 ・質疑等があれば発言をお願いしたい。 ・発行部数が４００部、郵送３００件とあるが一般市民が手に入れる方法はあるか。図書館などで閲覧するしかないのか。
提案者 松井委員	・皆さんに配布したいが、単純な計算で１冊３，５００円になるため悩んでいる。現時点ではできない。公共機関に提供するので、そこでご覧いただきたい。 ・４００部しか刷らないのはもったいないと感じた。全生徒に配りたいのではないか。１点思ったのが、この場での提案でよかったのか。市として市制施行７５周年で１口１００万円くらい助成事業をやるのでないかと思っている。そうした機会に増刷をしたらどうか。４００部で終わらせるのはもったいないというのが正直な感想である。
提案者	・一番の悩みをおっしゃっていただいた。語り部の会で作った昔ばなしは、お亡くなりになった方々のご助力がある。目次をご覧くださいと地区別になっているが、構成やお話自体色々なことがありカットした経緯がある。もうひとつ、歴史の史実と一致しているか批判がでたり、内容的なことも含め問題点がないわけではない。これは議論沸騰となり悩んだ。ご批判を検討し、創作も含めて議論を重ね我々としてはやっていきたい。
平間委員	・進修館高校生徒の感想を読ませていただいた。語り部の活動を今後も強くやっていかれたらいいと思う。この内容を本にして４０

提 案 者	0冊をどのように振り分けるのか。400冊を何人が読むかを考えてみると、語り部の活動を協力に推し進めていけばよいと思うがどうか。 ・400冊は小学校、中学校、市内公民館等の公共機関の合計数字である。公共機関には全部配布する予定である。 ・語り部活動をやっていくのは大事なこと。養成講座を実施し、語り部は全部で18人いるが、まだ少ない。それを多くして語り部をやっていければと思う。
今 村 委 員	・私も会員である。収支予算書をみていただくとその他の協賛金691,000円とある。これは有志の方々の協賛を受けるということ。ぜひこの場でご賛同してくださる方がいれば積極的に協賛金を支出していただけるとありがたい。
小 林 委 員	・行田市の昔ばなしを本にまとめて次世代に残すのは、非常によい活動だと思う。私は行田市に70年住んでいるが行田の昔ばなしを聞いたことがない。語り部と本を読む、それと進修館高校の感想にあるように今の時代に合う媒体で市民に広げていく。語り部を主体にして、現代の媒体をどのように使って広めるか、広報の仕方を考えていただいて、ぜひ行田の昔ばなしを私のように知らない人がいないように活動をお願いしたい。
阿 南 委 員	・進修館高校の感想には、CDにして発売するのはどうかという意見も出ているがそのようなお考えはないか。
提 案 者 羽 鳥 委 員	・現在はないが、検討に充分値すると思う。 ・語り部を3～4回聞いたことがあるが、こどもの時に遊んだ場所などがでてくる。素晴らしいお話なのでYouTubeにアップしてもらえないか。よろしくをお願いしたい。
提 案 者	・行田郷土史研究会が語り部の会話を1つずつYouTubeにアップしてくれている。そちらを見ていただきたい。
平 間 委 員 提 案 者	・本ではなく漫画という考えはあるか。 ・アイデアは出た。今回はイラストを進修館高校生徒にお願いし、本を制作していきたい。甲斐姫は漫画があるので、意見のひとつ

議 長	として参考にさせてもらう。 ・他にあるか。 ・以上で質疑は終わりにする。 ・非常に有意義な活動に積極的に取り組みされており頭が下がる思いだ。 ・結果については、後日、市から通知がある。 (提案者退室) ・審査に入る。審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入が終わり次第、事務局が回収に伺う。 (審査・採点) (審査表回収)
議 長	・それでは、次の団体からの提案説明に入る。 「さきたま古墳・古代米カレーの会」のご案内をお願いします。 (提案者入室)
提 案 者 議 長 島 田 委 員	・提案説明時間は、１０分以内をお願いします。 ・資料３－１に基づき説明 ・質疑等があれば発言をお願いしたい。 ・熱意ある説明だった。私の会でさきたま古墳など案内する際、昼食について聞かれるが古代米カレーの案内までいかず、近所のレストランやうどんを紹介してきたが、こういうマップができることで私どもも説明ができるのでよろしくをお願いしたい。
松 井 委 員	・提案にあった歴史的内容を説明するマップを制作するのか、そうではなく、カレーと店舗の写真だけになるのか。島田委員の意見もよく分かるが、お店のＰＲだけに助成金を使うのはどうか。
提 案 者	・前回制作したお店のマップであれば助成金には頼らない。今回は、さきたま古墳群が国指定特別史跡と分かることが第一、古代米カレーのお店のＰＲは第二とする。 ・行田にロマンを感じて人がたくさん集まれば、流動人口が生じ、町おこしを担える。行政は史跡を案内するツールを作る予定がないことが分かっているので、今回の提案をした。

松井委員	・支出のところに、今のような文言が入っていない。お店の商業シカルしかないと感じてしまった。提案内容にある思いがマップに載ればよいと思う。また学術的な裏付けもあればよいと思う。
提案者	・古墳に関する部分は、さきたま史跡の博物館に無償でやってもらえることが多いため、予算書上は記載がない。予算については、マップを作ることをのみを計上した。その費用にも各方面の協力があり、かなり低予算となっている。
平間委員	・行田では花手水が流行り、出している店舗が増えた。花手水マップを作り直しているようだが同じようなことか。
提案者	・我々の会は二重構造になっている。ボランティアメンバーと店舗とで行田を盛り上げるのがポリシー。新しい店舗の参入があれば、ホームページへ掲載する等の対応をし、商工観光課ともタイアップしていきたい。食材の地産地消も行政に貢献できると考えている。経済波及について一石を投じたい。
平間委員	・米娘舞娘は活動するのか。
提案者	・古代米カレー応援歌を歌っている。他市県でも活動をしている。
澤田委員	・古代米カレーの味やボリュームの評判はどうか。
提案者	・味は絶賛されている。量は足りないとの感想もあるため、古墳（ごはん）のおかわりを提案してほしいと店舗に伝えている。料金はやや高いという意見もある。1,000円以下で提供してくれる店舗の参入があれば嬉しく思う。
澤田委員	・売れるように頑張っていたきたい。
提案者	・値下げはこちらからは言えなかったことなので、外部の方に言う。今後活かしていきたいと思う。
智田委員	・古代米カレーとの付き合いは3年くらい前のことになる。集団お見合いパーティーで古代米カレーを提供した。60～70名の参加者の評判が良かったことを皆さんに伝えておきたい。
石橋委員	・ひこうせんの施設ソレイユというレストランでも古代米カレーを提供している。各店舗でマップをコピーしてもらい、古墳の説

提 案 者 阿 南 委 員	明を見ながら食べられるといいと思う。 ・是非、各店舗でやりたい。 ・予算について伺いたい。12,000部という部数はどういう根拠か。
提 案 者	・行田市民に行き渡らせることを考えるとこの倍は欲しいが、とりあえず私どもが捌ききれぬ部数である。通常の配布をして2年か3年持つ部数が12,000部である。行政の配布協力が得られればこの倍ほどは増刷したい。
阿 南 委 員	・わかりました。追加で印刷する場合、マップのデザイン料が1万円と随分と破格だが、1万円の中には、著作権等その他追加で印刷する時の費用も含めているのか。
提 案 者 小 林 委 員	・その通り、含まれている。 ・古代米カレーのマップを制作することで、古墳の価値を再認識する目的だろうが、今まで古墳のチラシは色々出ている。このチラシに見たいと思わせるアイデアはあるのか。
提 案 者	・QRコードを活用し、質問をすると答えてくれる質疑応答を5つくらいマップに入れる予定である。QRコードを読み込むと、さきたま史跡の博物館が監修した文章や写真、イラストが出てくるようなマップにしたいと考えている。
小 林 委 員	・やはり歴史に興味がないと「特別」や「特定」という言葉が入っても見る側にすれば同じかなと感じる。DMOともタイアップし、広くPRして古代米カレーの名前を広めてほしい。
議 長	・ものづくり大学の学長が古代米カレーの会の顧問になっている。学食でもカレーを数量限定で提供している。コロナが収まったらぜひ試してほしい。 ・他にあるか。ないようであれば以上で質疑を終了する。 ・結果については、後日市より通知する。 （提案者退室） ・審査に入る。審査基準表に基づき審査・採点いただきたい。記入が終わり次第、事務局が回収に伺う。

	(審査・採点) (審査表回収) (集計)
事務局	・「忍の行田の「昔ばなし」語り部の会」の提案については30点満点に対し、委員の平均点が28.1点となったことを報告する。 「さきたま古墳・古代米カレーの会」の提案については、30点満点に対し、委員の平均点が25.6点となったことを報告する。 24点以上で採択であるため、2団体とも採択となった。
議長	・以上で、やる気応援助成金の審査は終了となる。
事務局	(2)その他 ・続いて、議事3(2)その他について事務局から説明をお願いします。
松井委員	・資料4に基づき説明 ・いきいき財団の予算報告でも、市民活動という文字が躍っているが、捉え方が各所によって違うのではないかと。にりん舎さん(大人の引きこもり支援)などは行政の課題を市民活動団体が担っているのではないかと。地域の課題を行政と市民活動団体が連携して解決策を探るような成功事例を作っていってほしいと思う。
議長	・いきいき財団の市民活動というのはニュアンスが違っていると私も認識している。何にしても地域課題を解決するには、我々自身が力をつける努力も必要と感じる。 ・他にはないかと。 本日予定されていた議題を全て終了した。議長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。
事務局	・松井委員のお話にもあったとおり、市としては、行政課題に対し、皆さんの活動と連携していきたい。地域活動推進課としては、その仲立ちをして参りたい。そのためにも、サポセンに登録する団体が増えるとよいと考えているので、お知り合いにぜひ声をかけていただければありがたい。 ・先程の補足として、市民活動推進基本計画について説明させていただく。第6次総合振興計画が策定された。その内容を反映した

司 会	次期の市民活動推進基本計画を早急に策定したいと考えている。 その際には、委員の皆様からのご意見を頂戴したいので、協力をお願いします。 4 閉 会 ・閉会を宣言
------------	--